

## 平成 25 年度牧之原市民意識調査結果（一部抜粋）について

### 1 調査の概要

- ・目 的 市の様々な取り組みに対する市民の意識を把握し、市政へ反映させるとともに、平成 27 年度から実施する第 2 次総合計画策定のための基礎資料とする。
- ・調査期間 平成 25 年 7 月 12 日～7 月 26 日
- ・対 象 16 歳以上の市民 1,400 人を無作為抽出  
(前回までは 20 歳以上 1,300 人)
- ・実施方法 郵送による調査票配布及び回収(回答は無記名)
- ・発 送 数 1,393 人(転居等による不達分 7 通)
- ・有効回収数 858 人(前回 530 人)
- ・有効回収率 61.6%(前回 40.9%)
- ・経 過 平成 19 年度から実施し、今回調査で 6 回目

### 2 調査結果（一部抜粋）

#### (1) 今お住まいの場所に今後とも住み続けたいと思いますか？(報告書 P7)

「住み続けたい」は 59.9% となり、昨年度(60.0%)とほぼ同じであった一方、「市外へ移りたい」は 18.4% となり、昨年度より 2.0% 低くなっている。市外・市内の他の場所へ移りたい理由は、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が 64.2% と最も高くなっている。  
「住み続けたい」は 10~40 歳代では 5 割を下回っている。  
20 歳代女性の「住み続けたい」が 28.9% と著しく低く、「市外へ移りたい」が 40% と他の年代と比べ高くなっている(別紙 1)。

#### (2) 今現在、幸せだと思いますか？(報告書 P11)

「幸せと思う」(「大いに思う」+「ある程度思う」)は 66.6% となり、6 割以上を占めたが、昨年度より 4 % 低くなっている。一方、「幸せと思わない」(「あまり思わない」+「まったく思わない」)は 11.6% となり、昨年度より 1.8% 高くなっている。  
50 歳代の「幸せと思う」は、他の年代と比べて最も低く、一方「幸せと思わない」は最も高くなっている。

( 3 ) 市が今後目指すべき姿はどれだと思いますか？次の5年間に、市が重点的に取り組むべき分野はどれだと思いますか？（報告書 P15～18）

市が今後目指すべき姿（長期）では、「地震・津波など災害への備えが万全なまち」が65.4%と最も高く、今後5年間（短期）の重点分野でも、「防災・減災」が67.8%と最も高くなっている。

長期の2番目に高かった「医療・福祉が充実したまち」に対しても、短期の2番目は「保健医療」であり、4番目も「子育て支援」で長期と短期がほぼ一致している。

20～30歳代は、今後5年間の重点分野として「防災・減災」に次いで、「子育て支援」を2番目に上げている。

順位	今後目指すべき姿 (長期)	今後5年間の重点分野 (短期)
1	地震・津波など災害への備えが万全なまち(65.4%)	防災・減災(67.8%)
2	医療・福祉が充実したまち(58.9%)	保健医療(39.4%)
3	自然環境を大切にしたまち(26.8%)	高齢者福祉(31.7%)
4	子育て支援の充実したまち(23.0%)	子育て支援(27.9%)
5	公共交通が利用しやすいまち(22.1%)	農水産振興(13.8%)

( 4 ) 市役所の運営に求めるものは何ですか？（報告書 P19）

「応対の丁寧さ」が39.4%と最も高く、次いで「コストの削減」が38.2%、「職員能力の向上」が31.8%、「スピード感」が29.0%などとなっている。

( 5 ) 市を市外の人に紹介するとなったら、どのように紹介しますか？（報告書 P21）

「温暖な気候で生活しやすい」が63.8%となり、他と比べ圧倒的に高くなっている。次いで「市内に空港があり便利である」が32.8%、「犯罪が少なく安心して暮らせる」が29.8%などとなっている。

「市内に空港があり便利である」や「インターチェンジがあり道路交通の便がよい」など、交通の便の良さを紹介する人が多い。

( 6 ) 市からの情報の中でどんな情報を得たいと思いますか？市からの情報を何によって知ることが多いですか？（報告書 P23～26）

市から得たい情報は、「健康・医療・福祉」が74.6%と最も高く、次いで「防災・防犯」が61.3%となった。年齢別では、10歳代で「防災・防犯」が最も高く、30歳代では、「子育て」が他の年代と比べ高くなっている。

市からの情報を知る手段は、「広報まきのはら」が87.3%と圧倒的に高くなっている。

10～20歳代は、「家族や知人」から市の情報を得ることが他の年代と比べ高くなっているが、全体的に情報入手手段が他の年代と比べ少ない。

順位	市から得たい情報	市からの情報を知る手段
1	<b>健康・医療・福祉(74.6%)</b>	<b>広報まきのはら(87.3%)</b>
2	<b>防災・防犯(61.3%)</b>	家族や知人(33.9%)
3	生活(32.3%)	新聞、テレビ、ラジオ(31.0%)
4	環境(19.3%)	区、町内会の会合(29.5%)
5	子育て(17.7%)	議会だより

( 7 ) SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を知っていますか？( 報告書 P27 )

「知らない」が66.2%と全体の6割強を占め、「知っている」は32.3%と認知度は3割程度であった。  
 認知度は、20～30歳代では過半数を占めているが、年齢が上がるにつれて下がっていき、80歳以上では1割未満となった。  
 10歳代の認知度は、35.5%と平均の32.3%は上回ったものの、20歳代(73.7%)との開きが大きい。

( 8 ) 市のSNS情報サイトを利用してみたいですか？SNS情報サイトを利用しない理由は何ですか？( 報告書 P28～30 )

「利用意向のある」(「利用したい」(10.3%)+「必要があれば利用する」(42.7%))市民は53.0%となり過半数を超えている。  
 「必要があれば利用する」は、年齢が下がるにつれて高くなる傾向で、20～30歳代では6割を超えている。  
 「利用しない」は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向で、60～70歳代では3割を超えている。  
 「利用しない」理由は、「利用する手段を持っていないから」が48.4%と最高高い。

( 9 ) 市内で、新設・整備する必要がある公共施設はどれだと思いますか？市内で、統合・廃止する必要がある公共施設はどれだと思いますか？( 報告書 P31～34 )

**新設・整備する必要がある公共施設**  
 ア 「高齢者福祉施設」が32.2%と最も高く、次いで「図書館」が30.8%、「公園」が23.1%などとなっている。  
 イ 男性は「高齢者福祉施設」、女性は「図書館」がもっとも高くなっている。  
 ウ 10歳代、40～50歳代では「図書館」が、20歳代、60歳代以上では「高齢者福祉施設」が、30歳代では「公園」がもっとも高くなっている。  
 公共施設の統合・廃止が必要だという人は、全体の26%と3割未満となった。

(10) 市全体の土地の利用の仕方についてどう思いますか？（報告書 P35）

「観光、商業施設などの賑わい拠点が少ない」が44.1%と最も高く、次いで「空港、港、インターチェンジなどの交通基盤を生かせていない」が35.1%、「公園などの憩いの場が少ない」が30.2%などとなった。

男性は「空港、港、インターチェンジなどの交通基盤を生かせていない」、女性は「観光、商業施設などの賑わい拠点が少ない」が最も高くなっている。

20～30歳代では、「観光、商業施設などの賑わい拠点が少ない」が過半数を超えていている。

子育て世代である30歳代、高齢層の80歳代では「公園などの憩いの場が少ない」が他の年代と比べ高くなっている。

(11) 市の活性化には何が必要だと思いますか？市内のどこの場所を活性化したらよいと思いますか？（報告書 P37～40）

#### 市の活性化に必要なもの

ア 「大規模商業店舗」が37.5%と最も高く、次いで「防災公園、避難タワー」が36.1%、「観光施設」が33.3%などとなった。

イ 男性は「大規模商業店舗」、女性は「防災公園、避難タワー」が最も高くなっている。

ウ 10歳代、30～50歳代では「大規模商業店舗」、20歳代、80歳代以上では「観光施設」、60～70歳代では「防災公園、避難タワー」が最も高くなっている。

活性化したらよいと思う場所は「空港周辺」が29.3%と最も高く、次いで「両庁舎周辺の市街地」が16.2%、「相良牧之原インターチェンジ周辺」が14.6%などとなっている。

(12) 市はこどもを産み育てやすい環境だと思いますか？こどもを産み育てやすいと思わない理由は何ですか？（報告書 P41～43）

#### 産み育てやすい環境か

ア 「こどもを産み育てやすい環境だと思う」（「大いに思う」+「ある程度思う」）は29.9%と3割近くを占める一方で、「こどもを産み育てやすい環境だと思わない」（「あまり思わない」+「まったく思わない」）も28.3%と3割近くを占めている。

イ 男性は、「産み育てやすい環境だと思わない」が「産み育てやすい環境だと思う」をわずかに上回る一方で、女性は「産み育てやすい環境だと思う」が「産み育てやすい環境だと思わない」を上回っている。

ウ 子育て世代の30歳代は、「産み育てやすい環境だと思わない」が53.8%と過半数を超えていている。

#### 産み育てやすいと思わない理由

ア 「小児科や産婦人科などの医療機関が少ないため」が77.4%と最も高く、次いで「医療費が無料でないため」（42.4%）、「親子で遊べる施設や公園が少ないため」（36.2%）となっている。

イ 20、40歳代では、「こどもを一時的に預かる施設が少ないため」が、他の年代と比べて高くなっている。

(13) 浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？

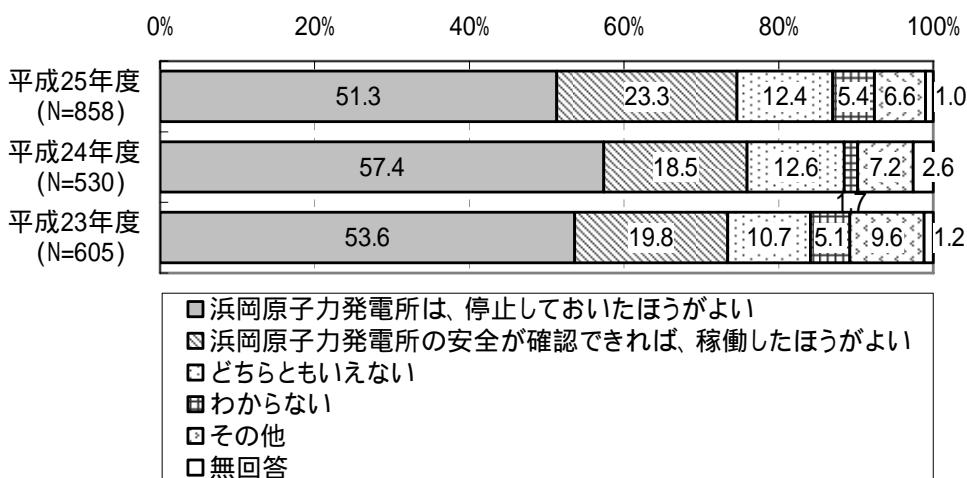
全体

ア 「停止しておいたほうがよい」は 51.3% となり過半数を占めたが、前回結果の 57.4% より 6.1% 低下した。

イ 「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」は、前回結果の 18.5% から 4.8% 上昇し 23.3% となり、全体の 2 割を超えた。

ウ 「その他」の 6.6% には廃炉等の意見 3.5% が含まれている。

(廃炉等の意見 : H24 は 3.8%、H23 は 6.3%)



男女別（表：次ページ）

ア 「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」は、男性が前回結果から 9.2% 上昇し 32.2% と、女性の 16.4% を大きく上回り、男女間での差がみられる。

イ 「停止しておいたほうがよい」は、男性が 48.8% となり半数を下回った。女性は 53.8% であったが、前回回答から 8.2% 低下した。

ウ 「どちらともいえない」は、女性が 16% と H23 から増加傾向にある。

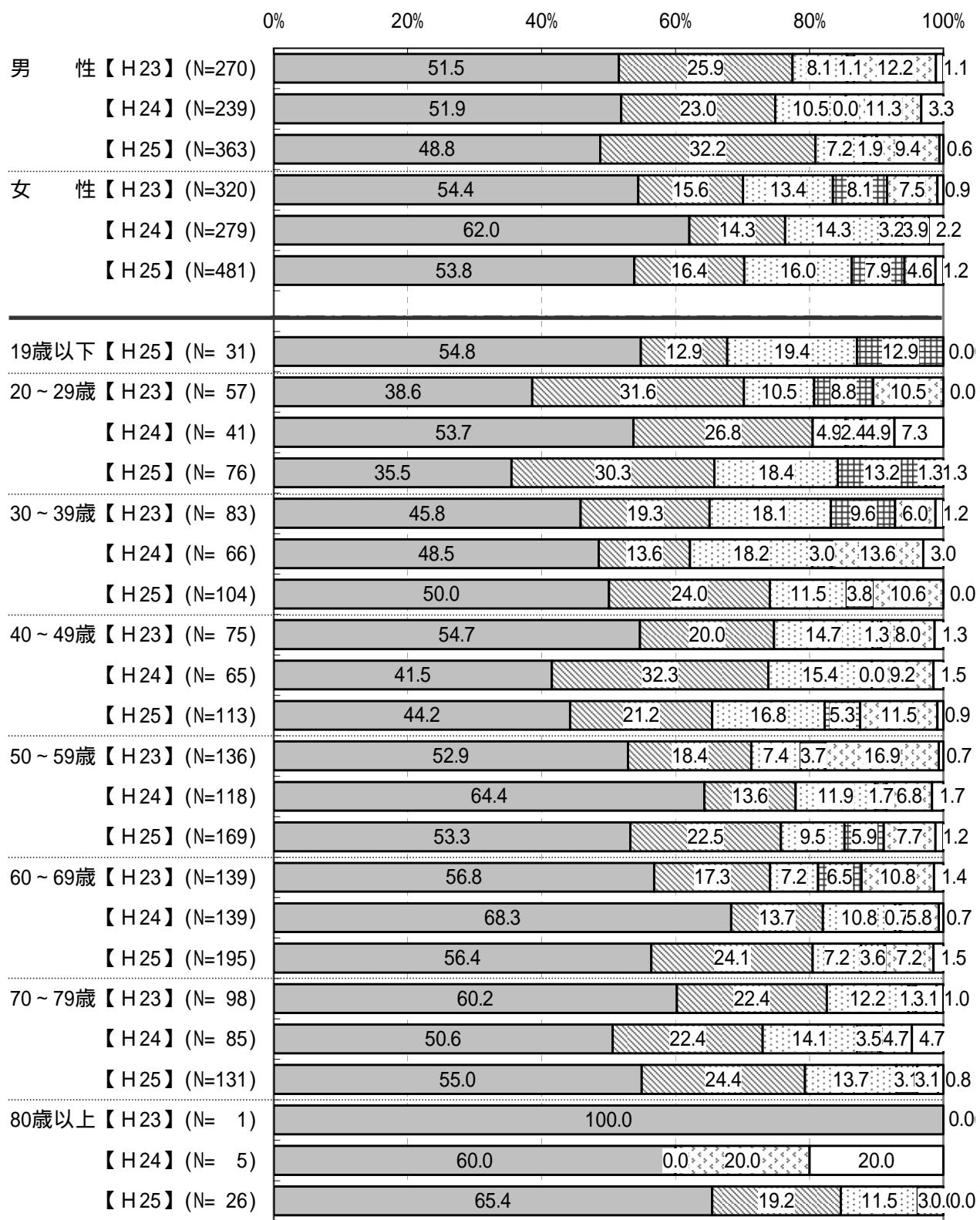
年齢別（表：次ページ）

ア 初調査の 10 歳代は、「停止しておいたほうがよい」が 54.8% と平均の 51.3% をやや上回り、「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が 12.9% と平均の 23.3% を 1 割以上下回った。「どちらともいえない」が 19.4% となり、全年齢でもっとも高くなかった。

イ 「停止しておいたほうがよい」は 20 歳代の 35.5% が全年齢でもっとも低く、前回結果 53.7% から 18.2% と大幅に低下した。50 歳代、60 歳代でも前回結果から 1 割以上低下した。

ウ 「安全が確認できれば、稼働したほうがいい」がもっとも高いのは 20 歳代で 30.3% となった。30 歳代、60 歳代、80 歳以上では前回結果と比べて 1 割以上増加した。

## 【男女別・年齢別】



- 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい
- ▨ 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい
- ▨ どちらともいえない
- ▨ わからない
- その他
- 無回答

## 20歳代の女性(45人)

「住み続けたい」28.9%、「市外へ移りたい」40.0%

### 【他へ移りたい理由】

地震や津波などの被災のおそれがあるから(52.2%)

公共施設や商店がなく生活に不便だから(43.5%)

通勤や通学などに交通面が不便だから(30.4%)

勤めたい会社が市内ないから(21.7%)

「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が、女性の他年代より高く、また、全平均値31.0%より12.5%高くなっている。

性年齢別集計(平成25年度)

(上段:人、下段:%)

	全 体	住 み 続 け た い	移 市 り 内 た の い 他 の 場 所 へ	市 外 へ 移 り た い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	858 100.0	514 59.9	71 8.3	158 18.4	96 11.2	19 2.2
× 性 年 齢 別	男性19歳以下 100.0	16 37.5	6 12.5	3 18.8	5 31.3	-
男性20~29歳 100.0	30 60.0	18 6.7	2 16.7	5 16.7	5 -	-
男性30~39歳 100.0	45 42.2	19 6.7	3 31.1	14 20.0	9 -	-
男性40~49歳 100.0	52 50.0	26 11.5	6 21.2	11 13.5	7 3.8	2
男性50~59歳 100.0	69 66.7	46 8.7	6 18.8	13 5.8	4 -	-
男性60~69歳 100.0	92 69.6	64 13.0	12 9.8	9 5.4	5 2.2	2
男性70~79歳 100.0	54 79.6	43 3.7	2 7.4	4 3.7	2 5.6	3
男性80歳以上 100.0	4 75.0	3 -	- 25.0	1 -	- -	-
女性19歳以下 100.0	15 33.3	5 -	- 26.7	4 40.0	6 -	-
女性20~29歳 100.0	45 28.9	13 11.1	5 40.0	18 20.0	9 -	-
女性30~39歳 100.0	59 44.1	26 15.3	9 23.7	14 15.3	9 1.7	1
女性40~49歳 100.0	60 43.3	26 10.0	6 28.3	17 18.3	11 -	-
女性50~59歳 100.0	99 51.5	51 8.1	8 23.2	23 15.2	15 2.0	2
女性60~69歳 100.0	103 73.8	76 6.8	7 11.7	12 5.8	6 1.9	2
女性70~79歳 100.0	77 84.4	65 2.6	2 6.5	5 1.3	1 5.2	4
女性80歳以上 100.0	21 90.5	19 -	- 4.8	1 4.8	1 -	-